

製品安全データシート

【1 製品及び会社情報】

製品名 BK クリーン

会社名 都インキ株式会社

住所 〒538-0044 大阪市鶴見区放出東 1-7-13

担当部門 技術課

担当者 中川 雄介

電話番号 06-6961-0101

FAX 番号 06-6961-0303

整理番号 Z-85-01

作成日 平成 24 年 6 月 19 日

【2 危険有害性の要約】



危険

重要危険有害性及び影響 引火性液体類

特有の危険有害性 現在の所有用な情報なし

【3 組成及び成分情報】

物質の特定 混合物

組成・成分 石油系炭化水素分

PRTR 法 該当せず

労働安全衛生法 ミネラルスピリット分 100%

CAS No. 企業秘密なので記載できない

国連分類及び国連番号 国連分類クラス 3.3(引火性液体)

【4 応急措置】

吸入した場合 新鮮な空気のある場所に移し、身体を毛布などでおおい安静保温に努め、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 石鹼と精水で洗い流す。
作業後、手などの皮膚に付いたものを良く洗わずに放置するとカブレ等の症状を起こすことがあります。

目に入った場合	清浄な水で十分に目を洗浄した後、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	無理に吐かせないで、速やかに医師の手当てを受ける。口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗うこと。

【5 火災時の措置】

消化剤	霧状の消火液、泡、粉末または炭酸ガス消火剤が有効である。消火に棒状の水を用いてはならない。
消火方法	火元への燃焼源を断つ。 初期の火災には粉末、炭酸ガス消火剤を用いる。 大規模火災の際には泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。 注水は火災を拡大し危険な場合がある。 周囲の設備などに散水して冷却する。 消火作業の際には風上から行き必ず保護具を着用する。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

【6 漏出時の措置】

着火源をすべて除去する(隣接地域での喫煙、フレア、スパークまたは火災は禁止)危険を冒さずにできる場合は、漏れを停止させる。製品を取り扱う時に使用するすべての器具は、アースしておく必要がある。流出物質を触ったり、その上を歩いたりしないこと。

人体に対する注意事項	: 呼吸用保護具を着用すること。
保護具及び緊急時措置	: 適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	: 公共用水域に流さないよう留意する。
回収、中和	: 吸収剤に吸収させて回収する。

【7 取扱及び保管上の注意】

取 扱	: 取り扱いは換気の良い場所で行う。 : 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 : 容器を転倒させる、落下させる、衝撃を加える、又はひきずる等の乱暴な取り扱いはしてはならない。 : 皮膚に触れたり、目に入る可能性のある場合には保護具を着用する。
保 管	: 容器は密閉し冷暗所に保管する。 : 火気、熱源より遠ざける。 : 直射日光が当たらないように保管する。
適性物質	: 炭素鋼、ステンレス、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエステル、テフロン

【8 暴露防止及び保護措置】

管理濃度(労働安全衛生法)	: データなし
許容濃度	: 62ppm 350mg/m ³
設備対策	: 換気を良くする。ミストが発生する場合は発生源の 密閉封 化、又は廃棄装置を設ける。取扱場所の近辺 に、洗眼及び 身体洗浄の為の設備を設ける。
呼吸器の保護具	: 保護マスク(半面型フィルター呼吸器 有機ガス用吸収缶)
手の保護具	: 保護手袋(長時間または繰り返し接触しそうな場合、耐化学薬 品性手袋が推奨される。前腕への接触がありそうな場合、長 手袋を着用する。選定の明確なアドバイスなどは保護手袋の 製造業者に問い合わせる)
目の保護具	: 安全ゴーグル(接触が生じそうな場合、側面シールド付き保護 メガネが推奨される)
皮膚及び身体の保護具	: 耐化学薬品性、耐熱性、耐油性の保護衣、長靴、前掛け等
衛生措置	: 本物質を取り扱った後、手を洗ってから飲食や喫煙をする。 汚染物質を取り除くために定期的に作業着、 保護具を洗濯し、 洗濯できない汚染された衣類及び靴などは廃棄する。

【9 物理的及び化学的性質】

当該化学物質等の外観物理的状態	: 無色透明液体
臭い	: 溶剤臭
Ph	: 適用外
流動点	: データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: 42°C
発火点	: データなし
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	: 上限 7.0 下限 0.6
比重 (相対密度)	: 0.780(15°C)
溶解度	: 水: 無視できる
n - オクタノール/水分分配係数	: データなし
粘度	: 1.0(40°C・cSt)
蒸気密度(空気=1)	: データなし
蒸気圧	: データなし

【10 安定性及び反応性】

安定性	: 通常状態で安定
-----	-----------

避けるべき条件 : 加熱、スパーク、裸火等の発火源は避ける
混触危険物質 : 強酸化剤との接触を避ける
危険有害な分解生成物 : 常温では分解しない

【11 有害性情報】

急性毒性 : (成分よりの計算値)データなし
皮膚腐食性・刺激性 : 現在のところデータなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 長期又は繰り返し接触すると刺激性が出てくる
呼吸器感受性又は皮膚感受性 : データなし
生殖細胞変異原性 : データなし
発がん性 : データなし
生殖毒性 : データなし
特定標的臓器・全身毒性－単回暴露 : データなし
特定標的臓器・全身毒性－反復暴露 : データなし
吸引性呼吸器有害性 : データなし

【12 環境影響情報】

環境影響・生態毒性 : データなし
残留性・分解性 : データなし
生体蓄積性 : データなし
土壌中の移動性 : データなし

【13 廃棄上の注意】

残余廃棄物 : 都道府県の規則に従って廃棄すること 投棄禁止
汚染容器及び包装 : 都道府県の規則に従って廃棄すること

【14 輸送上の注意】

(陸上輸送)

運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷がないよう、積み込み・荷崩れの防止を確実に行う。

指定数量以上の危険物を車両で運搬する場合は、自治省令で定めるところにより、当該車両に標識を掲げること。またこの際、当該危険物に該当する消火設備を備えること。

運搬時の積み重ね高さは3m以下とする。

第一類及び第六類の危険物及び高圧ガスを混載しないこと。

(海上輸送)

適切な出荷名 : 代用テレピン油

有害物クラスおよび区分 : 3
国連番号 : 1300
容器等級 : III
海洋汚染物質 : 該当
ラベル : 3

(航空輸送)

適切な出荷名 : 代用テレピン油
有害物クラスおよび区分 : 3
国連番号 : 1300
容器等級 : III
ラベル : 3

【15 適用法令】

化審法 : 既存化学物質
消防法 : 危険物第 4 類第 2 石油類(非水溶性) 危険等級III
労働安全衛生法 : 通知対象物質
労働安全衛生法 (危険物) : 引火性の物
有機溶剤中毒予防規則 : 第 3 種有機溶剤
海上汚染防止法 : 規制対象物質
PRTR 法 : 非該当
道路交通法 : 危険物
下水道法 : 鉱油類排出規制(5mg/L 許容濃度)
船舶安全衛生法 : 規制対象物質
廃棄物処理法 : 特別管理産業廃棄物
水質汚濁防止法 : 油分排出規制(5mg/L 許容濃度)

【16 その他の情報】

記載内容は全ての資料や文献を調査したわけではないため、情報漏れがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。なお、含有量、物理/化学的性質等の数値は保障値ではありません。